

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	08	0402	国際都市推進事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
国際都市化の推進

《事業開始の背景》
花巻市を外国人の居留・往来の多いまち＝万人が住みやすいまち、すなわち国際都市にするため、国際都市推進員を活用してさまざまな環境整備と海外への情報発信を行うとともに、国際交流協会の事業を通じて異文化理解の促進と国際感覚の醸成を図る。

《事業概要》
○国際都市推進員の活用
目的：「国際都市」実現に向けて外国人の居留・往来の増加を図るため、様々な面での環境整備と海外への情報発信を行う。
手法：外国人スタッフを雇用し、観光イベントの情報発信や生活ガイドブックの翻訳などを補助してもらう。
○国際理解の推進
目的：花巻市民の異文化理解と国際感覚の醸成を図るため、国際理解にかかわる各種事業を実施する公益財団法人花巻国際交流協会を支援する。
手法：公益財団法人花巻国際交流協会に補助金を交付し、事業を推進。

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(計画)
① 外国人定住人口	人	目標	360	360	
		実績	305	297	
② 外国人入込客数	人	目標	10,000	10,000	
		実績	6,041	16,037	
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当者	(内線)
しごと	生涯学習部	生涯学習交流課国際交流室	佐々木奈津枝	410

	25 年度決算			
事業費	15,086			
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	その他	56		
	一般財源	15,030		

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

1 国際都市推進員 2 名の雇用と、大連市研修員 1 名の受入を行い、国際都市化を推進する。(6,452千円)
 (1) 報酬 国際都市推進員 2 名 (4,425千円)
 (2) 共済費 同上 (620千円)
 (3) 旅費 仙台入国管理局 (12千円)
 (4) 需用費 大連市研修員生活必需品等 (168千円)
 (5) 役務料 大連市研修員傷害保険料 (36千円)
 (6) 使用料 大連市研修員公舎借上 (284千円)
 (7) 補助金 自治体職員協力交流事業研修補助金 (907千円)

2 公益財団法人花巻国際交流協会が実施する国際理解推進事業 (2,636千円)
 (1) 国際理解推進事業 (2) 定住外国人支援事業
 (3) 国際交流情報提供事業 (4) 国際交流団体活動支援事業
 (5) 国際フェアINはなまき (6) 管理事務費

3 国際交流センター運營業務 (5,878千円)

4 団体への負担金 (90千円)
 (1) 岩手県日唄協会会費 (80千円) (2) 青年海外協力隊を育てる会会費 (10千円)

5 国際交流基金積立金 (30千円)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	02	01	08	0402	国際都市推進事業

総合計画	政策	交流・移住人口増加で訪れたい・住みたいまちづくり	施策	県内外からの移住・定住化、二地域居住の促進
目的	国際都市化の推進			
対象	外国人および市民			
意図	・市民⇒国際感覚の醸成 ・外国人⇒移住・定住・交流の促進			

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？
 外国人と身近に触れ合う機会が少ないという、中学生円卓会議での意見を受け、国際都市化を推進する必要性を感じたことから、国際都市推進事業を計画した。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	「国際都市化の推進」を目的として、「交流・移住人口増加で訪れたい・住みたいまちづくり」政策をすすめるのは、市を措いて他にない。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	環境整備を促進し、海外への情報発信を行うことで、花巻市の魅力が伝われば、外国人定住人口や外国人入込客数の増加が期待される。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	外国人スタッフ雇用計画にあたっては、非常勤職員として雇用することとし、JETで雇用する場合に比し、同程度の経費でより多くの人員の雇用を期待できる。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	○外国人雇用にあたっては、国際都市実現に向けて環境整備をはかり、情報発信を行ううえで、想定しうる事柄を網羅するように計画した。 ○国際フェアの開催にあたっては、市内国際交流にかかわる団体を構成員とした実行委員会を組織した。

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○国際都市推進員の活用
 目的：「国際都市」実現に向けて外国人の居留・往來の増加を図るため、様々な面での環境整備と海外への情報発信を行う。
 手法：外国人スタッフを雇用し、観光イベントの情報発信や生活ガイドブックの翻訳などを補助してもらう。

○国際理解の推進
 目的：花巻市民の異文化理解と国際感覚の醸成を図るため、国際理解にかかわる各種事業を実施する公益財団法人花巻国際交流協会を支援する。
 手法：公益財団法人花巻国際交流協会に補助金を交付し、事業を推進。

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定
 後援・協賛 補助・助成 委託

《総合評価》…上記評価結果の総括

・国際都市推進員、大連市協力研修員が、「国際都市」実現に向けて外国人の居住・往來の増加を図るため、花巻市のイベント等をフェイスブック等を通じて英語、韓国語、中国語で情報発信を行い、多くの外国人が閲覧した。また、小学校での会話指導の実施や公共施設等の表示を英語に翻訳して施設に配置する等外国人の利便を図った。
 ・国際理解にかかわる各種事業（国際理解推進事業、定住外国人支援事業、国際交流情報提供事業、国際交流団体活動支援事業、国際フェアINはなまきの開催等）を実施し、市民の国際理解を深めることができた。
 ・公益財団法人国際交流協会に国際交流センターの運営を委託し実施した。

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)
① 情報発信回数	回	計画	500	500
		実績	3,998	23,734
② 小・中学校等での会話指導	回	計画	5	5
		実績		7
③ 公共施設等の多言語化表示	箇所	計画	2	2
		実績	6	5
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)
① 外国人定住人口	人	目標	360	360
		実績	305	297
② 外国人入込客数	人	目標	10,000	10,000
		実績	6,041	16,037
③		目標		
		実績		

要因分析	達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値より高い <input type="checkbox"/> 概ね目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値より低い
------	-----	--